

第3回 野沢会館改築検討委員会を開催しました

令和元年6月3日（月曜）、第3回野沢会館改築検討委員会を野沢会館の会議室（205号）で開催しました。

今回は、各地区役員等の改選に伴い、委員23名中10名の委員が変更となり、委嘱書の交付を行いました。

また、会長には新たに荻原泰昭氏を、副会長には引き続き青柳淳氏を選任しました。第3回の会議内容は以下のとおりです。

- (1) 佐久市野沢会館（佐久市生涯学習センター）改築基本構想に係るパブリックコメント及び住民説明会等の意見要望について



《第3回検討委員会の様子》

今回の会議は、平成31年4月に実施したパブリックコメントや住民説明会及び平成30年度に実施した利用者アンケート調査の意見要望に対する市教育委員会の考え方について、事務局より説明したのち、委員の皆様から様々なご意見等をいただきました。

なお、委員からの意見や質問内容等については、以下のとおりです。

●会議記録

[委員からの意見・質問等事項]

委員：現在の外郭団体は新施設へ入らないという事ですか。

事務局：外郭団体につきましては、振興公社において建設予定の、同一敷地内の別棟に入ることを計画しています。

建設予定の場所は、第2回検討委員会の資料No.1の右側にお示ししてございますが、①の部分が市の新しい野沢会館の建物、②の部分が振興公社において建設を計画している場所となっております。

副会長：個人的に頂いた要望、意見ですが、全体に関わることなので、委員さんからご意見あればと思い申し上げておきますが、1つ目は将来のことを考えた場合、若い人たちの意見が反映されているかどうかという観点、意見や要望、利用のしやすさ、そういった事が考えられているのか。

2つ目は、この意見要望の中にもありますが、横浜市戸塚区の男女共同参画センター横浜というのがあがっていますが、他にも優れた施設を委員さんの中で見学されて経験し、こういう仕様が良いなどあれば、ご意見を出して頂けたらどうかという要望も伺いました。

事務局：若い方たちの意見、要望という事ではありますが、アンケートにつきましても、自習室で勉強している学生からもご意見ご要望を頂いております。

また、今後、基本設計である程度になってきたところで、パブリックコメントや住民説明会等を行っていく中で、できるだけ若い方たちの意見も吸い上げていきたいと考えております。

その辺は、どういった方法が良いのか検討していきたいと思っております。

他の優れた施設の視察ですが、規模的なものも踏まえ類似的な施設があれば、その様な場所も視察できたらと考えております。

委員：陶芸用の窯はどこに配置されるのですか。

事務局：陶芸窯の場所については、これから詳細を詰めていく事となりますので、具体的な場所については、まだお示しすることはできませんが、今後レイアウトを作成していく中で、出来るだけ使い勝手の良い場所へ配置できるよう考えていきたいと思っております。

委員：音楽室について、現施設には、数多くの音楽室があります。利用状況も30%を超える部屋が複数あり割と高い状況と感じますが、今度の新施設の計画では、大と小の部屋1つずつあるだけで少ないと感じますが、これで足りるのですか。

事務局：現施設における音楽室の利用実態として、音楽以外にも英会話教室や、個人会議などでも利用されている方々があります。

小さくて使い勝手が良いということもあり、音楽室が多様な使われ方をしている状況にあります。

新たに計画しているものは、音楽室という名称のある部屋は2部屋となっている訳ですが、他に資料3ページの多目的室という部屋を3部屋設ける想定となっております。

こちらの部屋は、遮音性にも配慮し、音楽活動にも対応し、多様な利用ができるよう考えております。

他にも、会議室や食育室などありますが、様々な大きさの部屋を備えることにより、色々な目的に利用できるように考えております。

委員：間仕切りを計画している部屋についてですが、音漏れの心配をしているのですが、仕切って会議などで利用する場合、隣の音が気にならないものですか。

事務局：ある程度は仕切りでも防音できるようなのですが、限界があって隣で太鼓などの楽器による音などは難しいと考えております。

今後、設計で配置する中で、検討していきたいと考えております。

委員：設計の段階でもそうですが、設計の中でも出来る事は限られています。運用のところで何か工夫できればと思います。

例えば、隣同士で仕切って利用する場合、なるべく楽器など音がでるものは別の部屋で調整するなど、難しいですが何か仕組みを考えていただければと思います。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。運用の方でも何か考えていければと思います。

委員：資料4ページの市民ギャラリーのところで、「本格的な常設の画廊等のギャラリーを希望します。(穴あきボードや衝立などはなく)」とありますが、私も掲示発表の時、穴あきボードの衝立て使用するのですが、重たく組み立てるのに時間がかかり大変な経験しております。

新会館では、具体的にどういったもので考えていますか。

なるべく穴あきボードを使わない方が有り難いのですが。

事務局：出来るだけ穴あきボードを使わない中で、壁面へピクチャーレールを設置するなど場合によっては、可動式でパネルが出せるものなどもあるので、そのような工夫をする中で、なるべく高齢者などにも使い勝手が良いように配慮し考えていきたいと思っております。

また、高齢化が進む中で、なるべく負担を減らし穴あきボードの使用は少なくしたいと思っております。

委員：あとは白い壁さえあれば、画鋏を使わず、展示できるという方法もご提案できることがありますので、簡単に貼って剥がせるテープなどもあるのでそういったものも利用してはどうでしょうか。ご検討ください。

会長：昨年、野沢地区41区の施設研修で会津若松の稽古館へ行ったのですが、そこは、簡単に展示できるもので、穴あきボードほど幅がとれないものでありましたが、一点ずつ、パネルにスポットライトがあるものでありました。

また、この写真を撮ってきているので、ご提案できればと思います。

高齢者が増える中で、パネルを組んで準備や片付けがするのが大変な時代がきておりますので、ご検討をお願いいたします。

事務局：ご意見として承りました。

委員：社会教育委員の会議の中で、2点ほど意見がありました。

その中で、まず1つ目は、野沢商店街の皆さんのご意見をよく聞いてくださいということでしたので、今日、野沢地区区長会長さん、野沢地区商店街の理事長さんがお見えになっておりますので、その旨お伝えいたします。

2つ目は、毎日、野沢会館内で勉強している子供達「チャレンジ教室」について、自分たちの居場所を心配しているという事で学校の先生からご意見がありました。

また、進捗状況も聞かせてほしいとご意見がありました。

今後は、自習室で勉強されるという事でしょうか。

その点をお聞かせください。

事務局：基本的な考え方のスタート地点は、この新しい施設は「コミュニティ施設」であるというところがありまして、これを踏まえて現状、チャレンジ教室が外に出れるかどうか、という事を検討していただいております。

市の公共施設で場所的に野沢、中込辺りが良いのだろうと所管であります学校教育課とも調べて現地を見て様々な施設を探しておりますが、要件を満たす学習スペースを借りるとするのが難しい状況でございます。

また、ある施設を改修し利用することも考えられるのですが、現状としては、まだ検討中でございます。

なお、先生方も説明会に来ておりますし、どのような環境が良いかというお話しも伺っておりますので、学校教育課とも協調しながら、早急に決めていきたいと考えております。

委員：とても大事なことなので、良い方向で進めていただきたいと思います。

委員：先般の野沢地区開発促進期成同盟会の会議の中で野沢会館の話があったかと思いますが、同盟会の会長でもある会長、説明していただけますか。

会長：今の野沢児童館が学校から800m離れており危険であるということもあり、新

たな野沢会館へ併設という意見があったのですが、併設は切り離して考えようという事で今日、市の企画課へ児童館に関する陳情を出したところです。野沢商店街については、私が聞いている範囲だと山門市の修繕、駐車場の確保、色々な問題が出てきていますが、特にこの野沢会館に関する具体的な意見はありませんでした。

委員：広域連合などの外郭団体の入居意向の状況説明をお願いします。

振興公社：外郭団体につきましては、7月中には、ご意向を確認したいという事で、候補団体の広域連合などへお話をさせていただいている状況です。

また、候補団体におかれましては、現在、検討を重ねていると伺っております。

委員：入居の可能性はあるということの良いですか。

振興公社：7月中にはご意向が確認できるという事でございます。

委員：資料7ページの建物関係の中で「シンプルな建物」、「コンパクトな建物」という意見があるのですが、せっかく造るのであれば、予算の範囲は当然ですが、野沢地区のシンボリックなランドマークといえますか、野沢の中心的な建物というものを考えても良いのではないかと思います。

単なるコンクリートの固まりみたいな造りではつまらないので、パブリックスペースも明るく、風通しが良く、外へも繋がっていくようなアプローチ、街路などに配慮できると、天気の良い日は、そこに人が集まれるなどといった形の建物にしていただければと思います。

事務局：色々ご意見がございしますが、「シンボリックな建物」、「シンプルな建物」が良いなど、いずれのご意見も基本設計の中で、予算やコストを踏まえながら検討していきたいと考えております。

また、浅間会館などの類似施設もありますので、そういった施設とあまり掛け離れたものというわけにはいきませんので、その辺も参考にしながら考えていきたいと思っております。

委員：今回2,700㎡という事で、創錬や浅間会館が1,600㎡、新施設は、1,000㎡程大きいわけでありますが、今回解体するA棟が2,700㎡程で、その辺りで造るから2,700程度としているのでしょうか。

事務局：ご指摘頂いたように、創錬センターや浅間会館は1,600㎡程度となっているわけですが、こちらの施設は地区公民館としての標準的な機能となっております。

野沢会館も同じく地区公民館の標準的な機能に加えて、プラスアルファで市全体の生涯学習活動などを行うための生涯学習センターとしての機能を持っています。

また、地区公民館レベルとは少し違い、毎年、12万人が利用しております、その様な需要も踏まえながら、標準的な地区館機能に加え、生涯学習機能でプラス1,

000㎡程度のものを計画しております。

委員：6ページの設備関係の自家発電設備は、ご検討されているのですか。

事務局：現在の野沢会館にも自家発電設備がございますので、新しい施設についても予定しております。

委員：現在、冬期間の北側部分の敷地についてエンカル散布で苦慮していると思われるのですが、凍結防止対策という部分で何かお考えがあるのでしょうか。

事務局：特段、今のところ考えてはありませんが、一般利用者の駐車場につきましては、日当たりのよい南面を駐車場にしていきたいと考えております。

委員：子どもまつりを開催しております。その中で、綿あめを作っているのですが、部屋の中だと甘い匂いがこもってしまうため、外でやっているのですが、新しい建物にしたときに庇などの屋根はあるのですか。

そういったものがないと、今後できなくなってしまうかなと思います。
また、車で来た際に出入口の際は屋根があった方が便利かと思われるのですが、その辺はどうなるのでしょうか。

事務局：その様な具体的なものに関しては、まだ先の事となりますので、よろしくお願いたします。

委員：大会議室は、各種イベント、講演会などに対応できるよう計画されるようですが、広さについては、現在の多目的ホールぐらいと考えてよろしいですか。

市民のつどいや学習グループの方たちが、一年間の総決算で集まったりするので、狭くて入れないという事がないようにしてもらいたいです。

できたら、多目的ホールぐらいの広さは現状維持してもらいたいです。

事務局：新施設の大会議室につきましては、現状の1階にある多目的ホールと同じあるいは少し大きくなるかなと思いますが、いずれにしても多目的ホール以上は確保していきたいと考えております。

委員：チャレンジ教室について、よく検討していただきたいです。

例えば、どこかの空いている学校の教室を利用するという考えもあるかもしれませんが、ここ通っている子供達は学校の建物を見ただけでも行けない生徒であります。

そこは十分に考えていただきたいと思います。

できれば、多くの人が入り出りするのですが、生活ができる環境が良いのかなと私は思います。

結局、人との交流を気にならない、そういう子供達になってもらいたい。

場合によっては、引きこもりになってしまうことも考えられるので、できれば会館の中に設置いただき、日中空いている音楽室などを多いに利用できればいいのではないかと考えております。

事務局：チャレンジ教室につきましては、先ほどもお話ししたとおりですが、学校の空き教室という話もあるのですが、野沢会館に来る前は、学校の空き教室を利用していた経過もございます。

学校に設けるとなると子供同士、顔見知りもあると中々行きづらい部分があること、また環境的には、静かで常に安定した場所が確保できていることが必要と先生方から伺っております。

野沢会館が新しくなりますと、コミュニティ施設という事でありますので、人の往来は激しくなると思います。

そのような中で、静かな環境で人目につかずという場所が確保できるのかという課題もあります。

それならば、現状の様子分かっている市の既存施設を活用し安心できるスペースがあるのか学校教育課を中心として、様々な場所を見て探しているところでございます。

委員：今回の新施設の特徴の中でコミュニティスペースについて特徴を持たせようという事で記載されておりますが、実際のエントランスホールはどのくらいの大きさになるのでしょうか。

また、あまり大きすぎても現状の建てる位置へ収まらないのではないのでしょうか。

事務局：構想の中では全体2,700㎡程度となっておりますが、現在、高齢者関係の事務所の入居意向があるなどという事も含めまして、面積は若干、動くかなというところではあります。

コミュニティスペースについては、まだ実際レイアウトが出来ているものではありませんので、大きさについてはお示しできませんが、廊下などの共用スペースを上手く工夫することで、出来るだけ大きく生み出したいと考えております。

また、A棟部分への建替えは面積に限りがありますので、その中において無駄なスペースがないように設計会社において創意工夫を頂く中で計画していけたらと思います。

(2) その他について

事務局：本日、ご説明しました資料に基づき、市教育委員会の考え方を近日中にホームページ等に公表いたします。

また、基本設計案ができた段階で、今年度2回目の検討委員会で内容をご説明したうえで、再度住民説明会及びパブリックコメントを実施して参りたいと考えております。

次回の検討委員会の時期といたしましては、基本設計業務の進捗状況によりますが、

秋から年内にかけてになろうかと思えます。

改めてご案内いたしますが、よろしくお願いいたします。

委員：検討委員会の最終はいつですか。

市：検討委員会の予定ですが、皆様の任期は2020年10月までとなっておりますが、基本設計が終了し皆様にご報告し全てが終了する予定です。

なお、今年度は3回の委員会を予定しております、来年の3月頃、皆様にご報告を行い検討委員会を終了したいと考えております。

委員：皆が良かったなと思う設計が必要だと思えます。

ある程度の予算というのがありますが、みんなが良いじゃないかというものに決定できたらと思えます。

委員：新たな施設となった場合、外郭団体などは佐久合同庁舎の大会議室も借りるという事も利点ではないかと思えます。

そうすれば、振興公社も建設費用の面で助かるのかと思えます。

検討していただくと有り難いです。

振興公社：振興公社のビルはテナントでございまして、入る候補者を絞り、その方々にご意見を伺う中で、規模などを決めていきたいと考えております。